

令和6年度第9回教育委員会議定例会会議録

- 1 日 時 令和6年12月23日 午後1時30分
2 場 所 滝沢市役所 3階 庁議室
3 出席委員 教育長 太田 厚子
委員 柳村 栄
委員 井上 美津男
委員 恒川 かおり
委員 大石 園

4 説明のために出席した職員

教育次長	久保 雪子
教育総務課長	滝田 俊一
学校教育指導課長	渡邊 康二
生涯学習スポーツ課長	高橋 克周
文化振興課長	岡田 久美
学校給食センター所長	高橋 進

5 議題及び議事の概要

教育長 これより令和6年度第9回教育委員会議定例会を開会します。
(開会時刻 午後1時30分)

教育長 本日の出席委員は定足数に達していますので会議は成立します。

教育長 日程第1。会議録署名委員の指名についてお願いします。

教育総務課長 柳村委員にお願いします。

教育長 それでは本日の署名委員は柳村委員にお願いします。

教育長 日程第2。会期の決定については本日1日としたいと思います。これにご異議ございませんか。

(全員異議なし。)

教育長 会期は1日とします。

教育長 北国の岩手、そして滝沢らしい季節がやってまいりました。お寒い中、そしてお足元の悪い中ご出席くださりましてありがとうございます。

さてこの度、教育委員として、1期務めていただきました大石園様におかれましては、令和7年2月20日までの任期で終了し、後任として、現在鶴飼小学校 PTA 会長であります長瀬玲子さんが市議会にて承認されました。大石様にはあと2か月となりますが様々な場面でご活躍いただき、教育委員会を支えていただきました。どうぞこれからもよろしくお願いします。本当にお世話になり深く感謝申し上げます。

改めまして、今週25日から市内各小・中学校が終業式で、冬季休業に入っております。1月16日までの間、有意義な冬休みを過ごしてほしいと思っています。各学校におきましては大きな事故や怪我もなく、子ども達の安全安心を守っていただき、学校経営に尽力していただいた校長先生方には本当に深く感謝しております。ただ昨今のインフルエンザをはじめ、感染症の流行により、市内5学級が学級閉鎖となる予定であります。

令和6年を振り返ってみますと、1月1日に能登半島地震がありそして奥能登豪雨が9月にあり、甚大な被害を受けられているその地域の皆様に、今の復興の足音がまだまだ遠いところでありますし、尊い命を亡くされたご家族の方等のお気持ちを思うと、お見舞い申し上げる気持ちでいっぱいであります。

滝沢市におきましても、岩手山噴火警戒レベルが2に上がっている中で、緊張感ある日々を各学校とも過ごされましたが、市民生活には影響ないということで、ひとまず安堵はしております。しかしながら、教育委員会といたしましても、児童生徒を含めた市民の安全をしっかりと守れるようにということで思いを深くしたこの年であります。

新年が皆様健やかに、そして幸せな気持ちで迎えられるようにと祈りながら、私からの挨拶とさせていただきます。どうぞ本日もよろしく申し上げます。

教育長 日程第3。教育長の事務報告であります。別紙のとおりであります。何かご質問がありましたらお願いします。

委員 11月30日に開催されたたきざわ学びフェスタの様子をお伺いします。

生涯学習スポーツ課長 「わたしの主張」の力強い発表と、英語暗唱が大変素晴らしく、また1年生の読書感想文の児童もとても堂々と発表しておりました。姥屋敷中学校の生徒が司会でしたが、大役を立派に務められていました。

盛岡北高校につきましては、探究の時間を利用しての復興支援の関係の発表と、県立大学の化粧ボランティアサークルは、高齢者施設等を訪問し、高齢者の方を相手に化粧をしてハンドマッサージ等しながら皆さんを元気づけるというような活動をしているサークルですが、非常に良い発表でした。

せっかくいい発表の機会ですので、今後は参加する方々を更に広げたいと考えております。今年の参観者は195名でしたが、盛大に開催できたと感じております。

委員 11月27日の滝沢産食材使用のふれあい給食会では、どのようなお話があったかお伺いします。

学校給食センター所長 今回は一本木小学校で行われました。参加された方は、滝沢市学校給食食材生産供給組合5名、一本木小学校校長先生以下先生が4名、2年生児童が10名です。滝沢市側は、市長、教育長、教育次長、学校給食センターの栄養教諭と調理員の代表でした。メニューは、滝沢産の人参や大根、ごぼうを使った味噌汁とそれから蜂蜜を使った大福など滝沢の魅力のある食材を使った内容でした。児童の皆さんから最後に感想をいただきまして、特に野菜が美味しかったですとか、一生懸命作っていただいているのでこれから残さず食べたいですというような感想をいただいたところです。最後に感謝の気持ちを込めて、組合の皆さんに児童の皆さんから手紙を手渡されたというところであります。

教育長 コロナ禍で一時中断していた事業でしたが、このように久しぶりに開催でき、また子ども達と和やかに楽しく美味しい滝沢産の給食をいただくことができ、本当に良い時間を過ごしました。

委員 12月7日に開催された子ども会リーダー養成研修会の様子を教えてくださいと思います。

生涯学習スポーツ課長 こちらは、次期子ども会のリーダーとなる5年生を中心に、各子ども会の児童の皆さんが、青少年交流の家に集まり開催したものです。午前中はこ

どもの森から講師を招きまして、他の学校の子ども達とゲーム形式のじゃんけん等で緊張感をほぐし、午後は他の小学生と班編成をし、6年生を送る会の企画立案、そして発表まで行いました。今回も盛岡大学から教職を目指す学生12名の参加があり、その班のリーダー的な役割を担っていただきました。

子ども達の発表については、昨年以上に、自分達の班で考えた独自性や具体的な意見が出ていたと思いましたが、また学生がうまく子ども達の発想を引き出してくれたと感じたところでございます。

委員 12月8日に開催された歳末助け合い演芸会は、校長先生方と教育委員会のステージと会場全体の雰囲気が大変いいと感じました。一緒に出てみたいような気持ちになりました。大変お疲れ様でした。

委員 12月6日の第2回生徒指導主事連絡協議会・生徒指導主事研修会では、子ども達の案を取り入れながら作成し、配布したSNSのリーフレットについて、どのような反応があったのか、また冬休みに向けて重点的に取り組む内容についてお知らせください。

学校教育指導課長 12月6日に開催された協議会では、冬休みの生活全般についての話題となりました。なおSNSリーフレットについては、1月に開催が予定されておりますいじめ対策協議会で事例について紹介した上で、協議会の委員の方々にさらに効果的な活用方法等についてご助言をいただくこととしております。なお冬休みの生活に向けて、各SNSの使い方に関する心配な点等は出されておりますので、このリーフレットをさらに活用し、再度各校でSNSを巡るトラブルに遭わないように注意喚起しているところでございます。

なお生徒指導主事研修会の方については、いじめ対策のあり方ということで各校におけるいじめ対策の方策について再度確認すべき点を、盛岡教育事務所の指導主事から講義をいただき、各校の取組について見直しを行ったところでございます。

委員 11月30日に開催された学びフェスタについては、ある方からとても良い発表がたくさんあったので、深く聞きたいので、質問コーナーのような時間を設けて貰えると良いのではとの意見がありました。今後に向けた考えがあればお願いします。

生涯学習スポーツ課長 参集範囲を拡げることにも絡みますが、時間の範囲内で活動事例に対する質問の場を設けることについては、今後検討していきたいと思っております。

教育長 日程第4。議案第1号 「学校教育のあり方に関する対応方針に関し、議決を求めることについて」を議題とします。事務局の説明を求めます。

教育総務課長 (資料により説明する。)

教育長 それでは説明が終わりました。何かご質問がありましたらお願いします。

委員 今回の報告の中で、2の(3)についてですが、小規模校は地域の核となっており活動拠点やコミュニティの大切な場であるため、それを考慮した上で総合的に検討する必要があるとありますが、教育委員会として他の関係課との関わりについて何か方向性のようなものはありますか。

教育総務課長 学校は地域のコミュニティの核となるということで、その部分は今後慎重に考えていかなければいけない部分だと捉えております。今後、全庁に対し学校の統廃合について共有した後に、関係部署を巻き込んで検討を進めていく予定です。

す。いずれは担当課が中心となってコミュニティの在り方を考えていくということになりますが、担当部署の線引きをせずに円滑に統廃合ができて、なおかつ地域でのまとまりも失われないような施設の有効の使い方等も含めながら、今後協議を進めてきたいと考えております。

教育委員会の基本的な大方針としましては、複式学級を解消することであり、各地域の状況に合わせて進めていくこととなります。姥屋敷地区については、方向性が決まりました。柳沢地区についてはまだそこまで熟していないということで、今後時間をかけて複式解消に向けた協議を進めることとなります。他の地区につきましては、もし今後、同じように複式学級が発生するような場合については、同じような手順を踏んで、その解消または望ましい教育環境について地域と一緒に検討していきたいと考えております。

なお、この後、市行政の中で共有した後、議会にも報告をします。それを踏まえまして、年明け2月以降、姥屋敷地区及び柳沢地区にこの対応方針の説明に上がりたいと考えております。それを受けまして姥屋敷地区では統合準備委員会を開設する動きがスタートしていきますし、柳沢地区につきましては、そこでの対応方針の説明をした後、また地域の声をいただきながら、今後の協議に向けた検討を進めていくというような形になろうかと考えております。

2年間で統廃合をするための各種調整等を進めまして、最終的に令和8年度の冬前には、教育委員会の定例会で学校を廃止する議案を挙げ、議決も頂戴したいと考えております。その後、市議会での学校の設置条例の改正も必要となってまいります。そういった手順を踏みながら、最終的には姥屋敷小中学校の閉校式をどの時点でやるのかということも、今後いろいろ検討していくこととなります。地域では150周年記念式典も検討しているようですが、その中で様々検討して統廃合に向けて今後進めていくということとなります。

教育長 他に何かございますか。
(特になし)

教育長 それでは議案第1号を原案どおり決定してよろしいでしょうか。
(全員異議なし)

教育長 それでは議案第1号は可決されました。

教育長 日程5。事務報告1 「滝沢市学校体育におけるプール授業のあり方に関する方針について」事務局より説明を求めます。

学校教育指導課長 (資料により説明する。)

教育長 それでは説明が終わりました。何かご質問がありましたらお願いします。

委員 4ページに掲載の市内中学校のプール授業参加者のうち、欠席者の割合が36%とありますが、中学校だけではなく全体的な結果もありますか。また中学校を取り上げたことに何か特別な理由はありますか。

学校教育指導課長 この結果は市内の大規模中学校のデータとなっています。この学校につきましてはプール日誌に欠席者の人数を毎日記録してございましたのでそこから算定したものとなっております。他の中学校とも若干の相違はあるにせよ大体市内の平均的なものと捉えていたところですし、欠席の理由については、これは中学校に限ったことではなく、全国各地で感染症以降少しでも体調不良であると休む児童生徒が増えております。現在のプール授業については1クラス30人の学級で10

人しか入らないというような日も複数日あるような状況でございました。そういった状況からプール授業を実施した場合も、このような状況にあるということを資料として取り上げたものでございます。

教育長 他に何かございますか。

(特になし)

教育長 次に進みます。日程第6。事務報告2「滝沢市議会12月会議について」を事務局からお願いします。

教育次長 (資料により説明する。)

教育長 事務局の説明が終わりました。何かご質問がありましたらお願いします。

委員 7ページの下線部の箇所、滝沢市の教育の効果が出ているというのが具体的な数字で示されていて素晴らしいという思いで見させていただきました。一方いじめに関するアンケートについて積極肯定が80%台というのは高い数字であると思いますが、まだこれから頑張る余地があり、指導する余地があるというようなことを感じました。子ども達が授業に不安なく参加できる根底にあるのは、やはり自分の発言が否定されないとか、どんな発言をしても受け止めてもらえるという安心感が必要になるのかなというふうに思うので、現在51%のパーセンテージがさらに上がっていけば良いと感じました。

学校教育指導課長 おっしゃる通りで、子ども達が自信を持って生活し、学級への所属感がもち、そして自分自身は大切な存在であると自分を大切にできる人間を育てることによって、改めて周りの人を大切にするという気持ちも育っていくと考えますので、今話題になっている多様性を認め合うこと、それからそれぞれの子どもの良さを認め合うことというのを、本当にこれからの教育の中でより一層大切にしていかなければならない視点だと思っております。今後一層充実させていきたいと思っております。

教育長 他に何かございますか。

(特になし)

教育省 以上をもって、本日の日程は終了いたしました。教育委員会議定例会を終了します。

(閉会時刻 午後2時33分)

6 会議録作成者 教育長 太田 厚子

7 会議録署名委員

教育委員

教育長